



校 友

Vol.36 平成 23 年 11 月 1 日

松商学園高等学校校友会

松本市県 3 - 6 - 1

TEL 0263 - 34 - 2724 FAX 0263 - 34 - 0107



維持年会費の納入にご協力をお願いします

校友のみなさま、日頃『維持年会費』につきましては、深いご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、学校法人松商学園は本年で創立113年となり、松商学園高等学校校友会も大正10年に発足し、会則第1条にある様に会員相互の親睦と団結を図るとともに、母校経営の母体としての使命を念頭に学園の発展に寄与の理念の基、校友会の各々の立場の中で活動が引き継がれてまいりました。その経過の中でも、昨今ではあらゆる世界の様々な分野においても全く想像できない程に全てが、激動・激変の状況下であります。

校友会も母校経営の母体としての使命の部分において年毎に使命感の温度差が顕著になってまいりました。ここで、校友会員一同の結束をより強固に再生するには、皆様方から、校友会仲間のみなさんへお声掛け等のさらなる御支援が重要となり、ご協力とご指導をお願いする次第でございます。

主な内容

- | | | | |
|--------------------|----|----------------------|-----|
| ◆ごあいさつ…………… | 2頁 | ◆22年度終身会費納入者名簿…………… | 11頁 |
| ◆学校の紹介…………… | 3頁 | ◆22年度維持年会費納入者名簿…………… | 12頁 |
| ◆清水が丘短信…………… | 5頁 | ◆23年 総会報告…………… | 13頁 |
| ◆22年度卒業生進路状況…………… | 6頁 | ◆卒業30周年記念式典を終えて…………… | 15頁 |
| ◆入試情報…………… | 8頁 | ◆あとがき…………… | 16頁 |
| ◆歴史栄光室オープン一周年…………… | 9頁 | | |

あいさつ

松商学園高等学校校友会

会長 花村 薫 平



校友の発刊に当たつてごあいさつ申し上げます。

日頃校友会の活動にご理解とご協力を頂いておりますこと厚く御礼申し上げます。いつも年は、終身会費並に年会費を納めて頂いております校友に送付致しております。この会報ですが、今年は卒業生全員にお送り致しました。

学校法人松商学園本年度の入学生は、秀峰中等教育学校、高等学校、松本大学の短大、四大、合わせて二二〇〇名に及び、いずれも定員以上の新入生を迎えられた事は、関係された皆様方のご努力はもとより、校友皆様方のご協力によるものと感謝申し上げます。学校の諸施設も校友皆様方のご協力のもと、松本市新村に新設致しましたサッカーと陸上競技場併設の総合運動場の完成を見て、二応の施設整備が整いました。校友皆様方の強い要望のありました木造校舎の存続と改修も終わり、国の文化財の審査も終わり、指定を待つばかりであります。特に、二階に設置しました歴史栄光室は、松商の歴史そのものが展示されており、高く評価されております。皆様も一度学園に足を運んで、六階建ての中校舎を含めご覧下さい。これからは、再来年迎える硬式野球部の創部二〇〇周年の記念事業が計画されており、校友会も応援をしておりますので、ご協

力をお願い致します。

さて、厳しさが増して来ました少子化の時代。子供達に選ばれる学校にしなければなりません。高校を取り巻く環境が大きく変化してきております。学校教育の在り方が検討される時代に入ってきたと感じております。

次に、事業についてであります。学校長、教頭先生との懇談会も開かれ、校友会からの要望や学校行事への協力など話し合われました。又、本年は国民体育大会へ出場する選手も多く、少額ですが支援させて頂いたり、松商祭への参加もさせて頂きました。又、校友ゴルフ大会は二〇〇名を超える参加者によって盛会に開催されました。

終わりにお願いを申し上げます。創立二〇周年記念事業で実施致しました、学校教育施設拡充募金であります。目標に達しず、期間を延長して実施しております。企業や団体を除く、校友皆様方の参加人員は、一〇〇〇人で、二万余人に対し五％であります。もう少し頑張つて下さるようお願い致します。又、校友会年会費二〇、一〇〇〇円も約五〇〇〇口で、納入された皆様は、この校友に記載された通りの皆さんであります。同封されました振替用紙で忘れずにお願致します。以上、現況報告に併せてお願いを申し上げます。

あいさつ

松商学園高等学校

硬式野球部監督 足立 修



松商学園高等学校野球部の監督を拝命し、八月一日から選手と共にグランドで汗を流しています。

私自身約三〇年振りの母校となります。野球のグランドは下より、国の登録有形文化財である木造の校舎は大変懐かし、以前と変わりない佇まいは、高校三年間を過ごした頃をそっくりタイムスリップしたような思いを抱きました。

この度の野球部監督をお引き受けするに当たっては理事長、校長先生からの現在の松商学園の様子を伺い、将来に向けて学園全体の漲るパワーを感じ、私自身の母校に対する思い、そしてその中で微力ながら少しでもお役に立てればと思ひ受諾いたしました。このような機会を与えていただきました。このような機会を与えていただく方々、そして何よりも校友の皆様にも本当に感謝いたします。

現在は新チームになつて秋季大会を戦っています。選手は日々前向きに白球を追いかけ、諸先輩方が築かれた伝統を引き継ぎ、そして自分たちの新たなページを書き加えようと必死に取り組んでいます。野球部には部訓があります。その最初の一文に

「野球選手たる前に松商学園生徒たれ」とあります。高校生の自分を忘れず、謙虚な姿勢で、ひたむきに、チーム一丸となつて取り組んでいきたいと思つていきます。選手達にとって最大の目標は言うまでもなく『甲子園』です。応援してください。選んだ皆様のためにも『甲子園』出場、そして昭和三年以来の全国制覇を目標に掲げ、執念をもつて取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、校友会の今後益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

今後とも松商学園野球部に温かいご声援をよろしくお願いいたします。





学校の紹介

部活

今年も多くの運動部が、県高校総体（5月下旬から6月上旬）、北信越高校総体（6月中旬）、全国総体（7月下旬から8月中旬）で活躍した。全国総体（インターハイ）は、北東北地方を中心に行われ、団体7種目、個人7種目、総勢56名の参加、今年も県内トップの出場者人数であった。

女子柔道インターハイで、1年出口クリスタ選手が、52キロ級全国優勝、同じく1年の津金恵選手が63キロ級で準優勝、3年の諏訪部真夕選手が57キロ級



で5位入賞をした。

出口選手は決勝で、前回3位の志々目愛選手（宮崎日大）と対戦。大会前日に4キロ減量し、体力的に不安がある中、「気持ちで負けないようにした」と臨み、優勢勝ちした。試合前日の減量により、団体戦に出場することができず悔しい思いをした。「みんなのためにも個人で結果を残さなくては」と臨んだという。

津金選手は前回準優勝の佐野選手（高岡龍谷）と対戦。3年生を相手に善戦したが優勢で敗れた。

二人とも同じ中学（丘中学）出身で、お互いライバルであり、まだ1年生。今



後が楽しみである。

全日本テコンドー協会のジュニア強化選手に指定されている金原貴正将君（本校2年）が、7月下旬JOCジュニアオリンピックカップ第4回全日本ジュニアテコンドー選手権大会ウエルトー級で優勝した。現在オリンピック出場を目標に頑張っている。

放送部はNHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会ラジオドキュメント部門で、第3位にあたる優秀賞を獲得した。作品「愛のカタチ」では、里親制度を考へながら、親子関係のあり方に視点をあてた。震災の影響で、大会日程も大きく変更される中、ラジオドラマ部門においても第6位制作奨励賞を受賞するなど、躍進を続けている。

交流会

東日本大震災以降、外出もままならない福島県の高校生に、長野の自然の中でフレッシュしてもらいたいとの思いから、9月17日から19日の3日間、福島県立原町高校の生徒25名と先生4名を招いての交流会がひらかれた。

原町高校は、福島原発事故のために緊急時避難準備区域にあたる南相馬市にあり、生徒は相馬市と福島市の二ヶ所に別れ高校生活を送っている。しかし、被災した複数の高校が同じ建物で授業を行うため、放課後はクラブ活動も難し



い状況となっている。

今回は、大会などを通じて、本校の放送部との関係もあり、放送部を中心に、活動の盛んな郷土史研究部や卓球部の生徒を招いた。

7時間の長旅を終え、松本に到着した原町高校生は、松商の木造校舎に感動の声を上げた。松商は書道部のパフォーマンスや茶道部のおもてなしで歓迎し、金井校長は「おらほで、ゆつくりしましょう。どんなに不条理なことがあっても希望に向かって乗り越える力が人間にはある。今回の旅が希望の一環になればうれしい」と出迎え、原町高校の八巻校長は、「3月11日の6時限の授業中に地震が起きた。生徒は全員無事だったが、705名だった生徒が5月9日の授業再開時には340名になった。9月に

は390名までになったが、まだ南相馬の学校に戻ることは許されていない。」と現在の状況を語り、原町高校の代表の平沢君は、「通常の生活が難しい現実の中で、今回の交流会で有意義な時間を過ごしたい。」と生徒を代表して心境を語ってくれた。

その後の交流会では、それぞれのクラブで、学校の垣根を越え、交流しながら、お互いに刺激し合う姿を見ることができた。また、長野県の風土を感じてもらおうと企画されたそば打ち体験や安曇野散策でも両校の交流が行われ、原町高校の生徒も放射線量を気にせず自然とふれあう喜びを久しぶりに感じていたようだった。

3日目には原町高校生から「3日間はとても短く、これ以上いると帰りたくなくなりそうならい楽しかった。これからも引き続き交流はつづけていきたい。」という言葉がでるほど深い交流となり、原町高校生は松本を後にした。

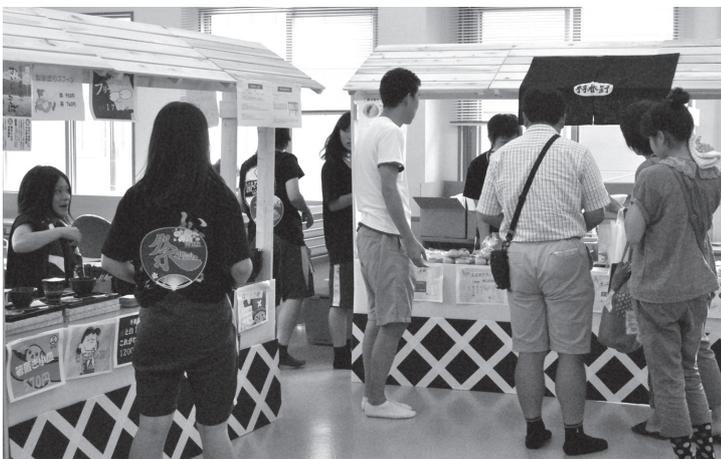
災害による大変な不幸や不自由の中にありながら明るく元気で前向きな原町高校の生徒と一緒に活動できたことで、交流に参加した松商生も感動を得た。これを機会に両校の交流を盛んなものにしていきたい。



松商祭

第53回松商祭一般公開（8月27日（土）・28日（日））において、「松商校友（土）商店街」と題して商業科の販売実習を行いました。これは、昨年に引き続き2年目となる取り組みです。昨年度は、商業科のクラブである「ビジネス情報技術部」が中心となって行いましたが、今年度は3年生の商業科の生徒全員が、授業の中で取り組みました。校友会の皆様には、協力事業所への連絡、紹介をはじめ、たくさんの協力をいただきました。商業科販売実習の歴史は古く、校内に常設した売店だけでなく、松本城近くに店舗を構えた時期もあったとの記録も残っています。授業の一環としての販売実習は、昭和30年代に途絶えてしまいましたが、昨年度より販売実習を復活することができました。

今回の販売実習では、生徒たちが事前学習として協力店舗や販売商品について調査し、販売に役立てることや、校友の方々に事前にアンケートをとり、当日来店されたお客様に店舗の紹介ができるように工夫をしました。また、各班で分担した商品に関して売価設定を行い、売上利益の計算など、普段、机上で学習する内容を実際に経験することができました。また、ただ単に商品を並べて販売するだけでなく、来たお客さんに、校友による専門店街としてのイメージを感じてもらうために、なまこ壁風の屋台を設置し、売り場に統一感を持た



せ、お客様を迎える準備をしました。当日は、野菜や果物から、お土産物、そば、漆器など多くのアイテムを取り揃えました。まだ2年目ということもあり、規模は小さいですが、確実に地域の方々にも認知していただき、昨年度に引き続き足を運んでくれたお客さんも多くいらつしました。

2日間という大変短い実習期間ではありましたが、商品を販売することの難しさや、楽しさ、接客の重要性など多くのことを学ぶことができたと思います。来年度はさらに規模を拡大し、商業科と校友会の取り組みとして定着していければと考えています。

堀地スチール工業(株) 堀地 忠明 (64 回卒) 0263-25-3358	(株) 大月酒店 大月 吉史 (57 回卒) 0263-28-8500	田中スチール工業(株) 田中 嘉隆 (58 回卒) 0263-25-9610	(株) 丸谷工業 丸谷 義一 (60 回卒) 0263-25-4008
元禄 吉田屋 内山 美奈子 (88 回卒) 0263-62-2907	三平堂商店 坪田 洋治 (61 回卒) 0263-64-3011	(有)サンユー製作所 百瀬 俊雄 (54 回卒) 0266-28-6563	大沢会計事務所 大沢 利充 (67 回卒) 0263-34-1445
(有)会田醤油醸造店 滝沢 善長 (65 回卒) 0263-64-2024	(株)青木工務所 鳥 羽 弘 光 (短8 期卒) 0263-32-4723	お お つ き 大月 晃雄 (64 回卒) 0263-62-3000	(株) 草田組 草田 耕一郎 (65 回卒) 0263-64-2168



清水が丘短信

松商64会納涼会開催する

3月11日の東北大地震災以降明るい話題の少ない中、世界ワールドカップでの日本女子サッカー優勝は、日本中に元気を与えました。

今年は、例年にならない暑い日が続いており中年の域に存在する松商64回生も「なでしこジャパンに負けず元気を取り戻そう」と山田昇学年会長の発案にて、平成23年8月23日火曜日に「松本ホテル花月」にて「松商64会納涼会」を開催しました。

合わせて64回生の田口敏子氏が長野県の監査委員に就任され、村上幸雄氏は松本市市議員に上位当選を果たされました。私たちも同期の仲間として大変誇りに思い、「お二人の就任と当選を祝う会」も同時に開催しました。当日は火曜日の平日にも係わらず22名の仲間が集いました。お二人へのお祝いの花束贈呈に始まり、就任・当選の祝辞を贈り、お二人より謝辞と決意表明を述べて貰いました。納涼会ではいつものように、参加者各自より近況報告を含めた種々の発言をしながら、フリードリンクの安心感も手伝い大騒ぎの納涼会となりました。その後恒例の二次会は、同期生の経営する東小路の「貴よい」にてカラオケ交じりの懇親

会にて65歳の元気な中年を取り戻し、平成26年3月に迎える卒業50周年までの健在を確認し、楽しかった「松商64会納涼会」は散会となった。

64回卒業生 山田 昇

松商柔道部57回生集う

故郷信州の常念岳・燕岳・乗鞍・槍ヶ岳の美しい山々に雪化粧が残る頃、松商学園高等学校柔道部を卒業して54年（半世紀以上）の長い歳月が経ち、何か遠い遠い昔のような思いや、アツという間の50有余年であったような気もしました。お互いに夫々の思い出多き年月であったであろうと稽古に明け暮れた遠い昔の青春の一時に想いを馳せると、その青春の仲間会いたくなくなった。今年2月に松商学園柔道部OB会の総会があり、その折、全員が元気なうちに同期会を遣ろうという話になった。そこで松商柔道部57回卒業の12名全員に案内をした。

平成23年10月1日（土）に丸山幸明（奈良）・中村忠義（岐阜）・柴野光日郎（埼玉）・塩原征三郎（東京）・西川廣（静岡）・百瀬允宏（神奈川）・北沢豊（松本）・竹内国敏（松本）・一之瀬勝弘（松本）の9名が集まった。ホテルモンターニュ松本にて後輩の浜野秀次君（64回）の信州そば等の豪華な昼食後柔道の恩師である樽沼次男師範

のお墓に詣で竹内君の読経でお参りした。

母校の松商学園高等学校に向い柔道場が上がった。監督・選手29名が迎えてくれ、久々に打ち込み・乱取り等の稽古を見学した。今は、インターハイでの優勝・準優勝・5位の選手が在籍する全国強豪校にまで成長している。今年10月にフランスで開催の世界ジュニア選手権への出場選手もいる。稽古の迫力に感動し、57回生一人ひとりが選手に激励の言葉を贈った。稽古をみると現役時代を彷彿させ、青春の血が燃え上がる感動と震えるほどの感激を身を感じ、選手と一緒に記念撮影



をした。歴史栄光室を拝観し歴史と栄光を感じ、国の登録有形文化財に登録される本校舎・柔剣道場・講堂を改めて眺めてみると75年に及ぶ永い歴史と伝統を感じ、ここに学んだ誇りを覚えた。

その夜は、松本浅間温泉「ホテルおもと」にて竹内・丸山・一之瀬の奥さん3名を交えて旧交を温めた。お互いに古希も過ぎた仲間同士が、一献傾けながら54年前の童心に戻り現役時代の思い出話・全国大会に出場した時の話・卒業後の話・樽沼道場での懐かしい話に花が咲き、先輩に苛められたことや、道場の隣の部屋で煙草を吸った話、樽沼先生の2階で合宿中に酒を飲んだことや、沢山の話題と共に酒も進みました。卒業以来54年ぶりに行き会う仲間も話をしていると昨日話したような錯覚に陥り益々話しが盛り上がった。時間の過ぎ行くことも忘れ語りは延々と続き終わりが無かった。

翌日に、後輩たちの全国から世界への飛躍を祈念し、平成26年の松商学園柔道部創立90周年記念式典で元気な姿での再会を誓い合い、それぞれ夢の世界から離れていった。

57回柔道部卒業生 一之瀬勝弘



松商学園高等学校 平成22年度卒業生進路状況

新たな取り組みをさらに深化

選抜進学コース4年目

特進クラスと同一カリキュラム(授業形態(0時限から7時限までなど)を工夫しての授業)で文武両立を目指す選抜進学コースができ4年目に入った。中学生からの人気も高く次年度からは更に1クラス増の予定である。

コース別対策

今年度このコース対策にPTAより学力向上の名目で予算を計上していただき、商業・特進・文理・選抜・総合の各学科のコースプロジェクトリーダー長を中心にして、コースの特徴をさらに発展させる具体的な計画を企画実践している。

進路指導室改築される

中校舎建設に伴い、進路指導室の拡張・生徒進路相談室が新設された。進路情報コーナー・情報機器等を増設。生徒が利用しやすい進路相談室(相談コーナー、PCの設置、サテライトの学習にも使用)へと進化しました。

平成22年度卒業生進路状況

進学について

卒業生437名のうち進学者は301名で、大学234名(進学者の78%)、短大67名(進学者の22%)、専修専門学校70名(進学者の26%)、浪人その他51%(全体の12%)。

大学では、国公立大学へ29名(現役16名、浪人13名)合格した。その内信州大学へは11名合格。私立大学への合格者373名(現役277名)は、一般入試、指定校推薦入試、AO入試、一般推薦入試、部活動推薦入試など多様な入試制度を積極的に活用して合格している。また難関校といわれている大学への合格者もますます増加している。

短大への進学者は67名となった。中でも、医療・商経・保育系への進学をはじめ多岐の分野に進学している。専門学校への進学者は70名。合格校は、医療系と情報系への進学者が多くなった。特に医療系は多い。

就職について

1年次から職業適性検査、職業講話、キャリア教育、会社見学などを実施し、職業意識の高揚と自己理解の深化に努

め、厳しい就職雇用状況の中、将来社会で必要とされると共に、生きがいを感じて人生を送ることができていることを願って指導している。

昨年の就職・公務員希望者19名(全体の4.4%)は、早めに準備 試験対策・会社訪問などを行い、採用内定を獲得した。

▲主な就職先▼

塩尻市役所、松本広域消防局、郵便事業(株)信越支社、キッセイ薬品工業、ワコール、セブニーイレブン、ジャパン、片倉工業、信越化学工業、長野懸護国神社

進路先から見た各学科・コースの特徴

【商業科】
資格取得と部活動や学習に頑張り、推薦入試制度を利用するケースが多い。

進学70名、就職4名

合格者数：私立大学35名

短大(国公私)29名

専修・専門9名

▲主な4年制大学▼

明治・専修大(2)・松本大(9)・文教大・名城大・実践女子大・東海大(2)・帝京大・神奈川大・産業能率大・千葉商科大・中央学院大・諏訪東京理科大(2)・名古屋商科大(4)・愛知学院大(2)・佐久大・大阪商業大……etc

【普通科特進コース】

センター入学試験、一般入試を受験し国公立、難関私大を目指す。

進学40名、浪人・その他5名
合格者数：国公立大学6名
私立大学39名

▲主な4年制大学▼

信州大(3)・広島大・横浜国立大・室蘭工業大・東京歯科大・早稲田大・明治大(2)・法政大(4)・駒沢大(3)・専修大(3)・東洋大・帝京大(2)・日本大・東京経済大・共立女子大・京都女子大・近畿大……etc

【普通科選抜コース】

学業と部活動の両立をはかり推薦入試、センター入学試験、一般入試を受験し国公立、難関私大を目指す。

進学32名、浪人・その他7名
合格者数：国公立大学6名
私立大学31名

浪人21名

▲主な4年制大学▼

信州大(3)・金沢大・長野県看護大・釧路公立大・静岡文化芸術大・神田外語大・国士館大・京都外国語大・駒沢女子大・東京工科大・岐阜女子大・名古屋外語大・東海大・日本大・大東文化大・文教大・東北福祉大……etc

【普通科総合進学コース】

学業と部活動の両立をはかり推薦入



試、一般人試で進路実現を目指す。

進学158名、就職10名

合格者数：国立立大学1名

私立大学81名

短大(国公私)27名

専修・専門49名

〈主な4年制大学〉

新潟大・青山大・法政大・日本大(2)・駒沢大(4)・東洋大(2)・松本大(20)・順天堂大主川大・国士館大・杏林大・東京家政学院大・日本体育大・神奈川大(2)・跡見学園女子大(2)・二松学舎大・佐久大・大東文化大(2)・拓殖大(2)・南山大・帝京大・東海学園大・武蔵大・日本福祉大・日本女子体育大・流通経済大……etc

【普通科文理進学コース】

学業と部活動を両立させ、難関大学への進学を目指す。

進学102名、浪人・その他16名

合格者数：国立立大学3名

私立大学75名

短大(国公私)12名

専修・専門14名

〈主な4年制大学〉

信州大・都留文化大・長岡技術科学大・明治大(2)・専修大・法政大・岩手医科大・駒沢大・東京女子大・立命館大(2)・同志社女子大・杏林大・日本大(4)・東京経済大・大妻女子大・東海大・松本大(3)・神奈川大(4)・大阪芸術大・愛知大・佐久大・聖徳大・名城大・玉川大(2)・帝京大(5)・東京農業大・東洋

大・拓殖大(3)・芝浦工業大・国立音楽大・愛知大・中京大・日本福祉大(3)・名古屋外語大・京都光華女子大・カリフォルニア州立大・釜山大……etc

進路実現のための取組

日頃の学習での学力向上と、部活動での人間力向上を前提に、目的を明確にした目標設定をし、能力を引き出す工夫と努力をしている。また、より良い進路実現を目指して、進路指導部、学年、担任、PTA(保護者対象の「進路セミナー」(3年)、「進路講演」(全体12月)、「進路講演」(2年、11月)実施)が協力して各種取り組みをしている。

(1)自己理解を深め、意識を高めるための取り組み

職業講話 6月(2学年全員) 11月(1学年全員)

進学講演会 2月(2学年全員) 9月(1学年全員)

特進講演会 4、5、10、11月(特進全年)

進学研究会(難関大進学、国立(信大など))

就職対策講座(7月、8月)

(2)キャリア教育の推進

2年次(夏季休業・春季休業中)に希望企業でジュニア・インターンシップ(職業観育成)

3年次(就職希望者)は企業見学を実施

(3)進路研究・ガイダンスの推進

コース別進路ガイダンス(1、2年)

就職・進学ガイダンス(3年生全員に対して5月実施)

学校別(大学など約80校参加)個別進学(7月)ガイダンス

2年生徒と、その保護者に対して3月学ぶ分野別ガイダンス

大学フェアに参加(特進・文理コース)

進学準備ガイダンス(2年)

明治大学キャンパスツアー(7月)

(4)情報提供の充実

進路指導室インターネット20台、図書館にも進路用パソコン2台を設置しインターネットを自由に活用してもらう。

進路指導室の前の廊下を利用して各種資料を提供・配布

(5)個別相談の充実

(6)センター試験対策講座・国立大個別試験対策講座

(7)小論文対策講座

(8)就職・公務員対策講座

(3年就職希望者)に対して6・7・8月実施

(9)補習授業・サテライト講座開講

(通年・長期休業中実施)

(10)学年統一模試・小論文試験の充実

(3年・7月、1・2年・11月、2月実施)

特別進学コースへの対応

「持てる力を可能な限り伸ばす」を目標にして

・オリエンテーション合宿(1年4月)

・補習授業、朝テストの実施

・サテライト講座(代ゼミ、河合塾、駿台の3社を導入)の開講

・メンタルトレーニングの活用

・学習量確保のための7限目授業の設定

・勉強合宿(夏季休業中)

・土曜日授業

・模擬試験を年10回実施

・センター試験会場にてプレ模試を受験(12月実施)

・国立2次試験対策として小論文講座を長期休業中に実施



入試情報

総募集人数 460名	商業科(男女)80名	2年次より、会計システム・ITメディアの2コース制
	普通科(男女)380名	<ul style="list-style-type: none"> ●特別進学コース……………60名 ●選抜進学コース……………70名 ●文理進学コース・総合進学コース……250名 2年次より文系・理系を選択 (総合進学コースは文系のみ)

◇詳細については生徒募集要項をご覧ください。 ※印については在籍する中学校の先生にご相談下さい。

特奨生入試	[試験] 12月23日(金)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	普通科特奨生	専願	特 選 文 総	20以上(5科)	個人	なし
	商業科特奨生	専願	商	18以上(5科)	個人	なし
	運動部特奨生	専願	商 選 文 総	※	個人	なし

推薦入試	[試験] 1月24日(火)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	学業推薦	専願	商 特 選 文 総	※	集団	なし
	クラブ推薦	専願	商 選 文 総	※	集団	なし
	課外・特技推薦	専願	商 選 文 総	※	集団	なし

併願入試	[試験] 1月25日(水)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		併願	特 選 文 総	※	集団	なし

一般入試	[試験] 2月22日(水)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
		専願/併願	商 特 選 文 総	なし	なし	国・数・英 (記述)

帰国生入試	[試験] 12月23日(金) 1月24日(火) 2月22日(水)	区分	対象となる学科・コース	出願条件	面接試験	学力検査
	専願	商 特 選 文 総	※	個人	なし	

中国料理 百老亭 出井健二 (66回卒) 出井健太郎 (95回卒) 0263-32-4220	(有)本郷商店 本郷剛史 (80回卒) 0263-64-2202	浅輪食糧店 浅輪周平 (54回卒) 0263-25-1349	(有)ミヤサカ印刷 宮坂勲 (短15期卒) 0263-47-3017
--	---	---	---



歴史栄光室見学者オープン1周年で約3700人



昨年9月にオープンして以来、卒業生・在校生などの学校関係者をはじめとし、体験入学の中学生や一般のかた、来校者など、見学者数は3675人になった。同級会の際に学校と歴史栄光室をコースに組み込んだ卒業生は、各コーナーの前に立ち止まって懐かしく思い出話に花を咲かせながら見学していた。在校生は入室すると同時に展示品の数々に驚きの声をあげ、改めて伝統の重みを感じていた。おもな入場者は次のとおりである。

【平成22年】
9月 572人 オープン23日、教職員
24日、一般公開25日、26日

10月 1728人 体験入学全校生徒
13〜29日百周年学校紹介ビデオ
鑑賞後見学者老人との交流会
11月 145人 公開授業 校友同級会
45・56・57回・入試説明会
12月 11人 校友同級会39回

【平成23年】
1月 22人 韓国釜慶高校・校友卒業30周年
4月 550人 新入生
5月 1人
6月 16人 38回生・校友同級会54回
8月 550人 松商祭一般公開
9月 79人 入試説明会 福島県原町高校・岡谷蚕糸博物館近代遺産を考える会

昭和3年野球部全国優勝メダル 83年ぶりに母校に帰る

◆ミニ企画展「中村恒利の足跡」開催◆

平成23年5月6日、松本商業学校第29回（昭和6年3月）卒業中村恒利氏の御子息新太郎氏が来校し、昭和3年8月22日、野球部が第14回全国中等学校優勝野球大会で優勝した際、右翼手として活躍した父恒利氏の遺品（当時出場選手に授与された優勝メダルや写真アルバム、また日本の学生野球の父ともよばれた飛田穂洲氏からの手紙をはじめとする野球関係の資料20



数点）についてお話があり、歴史栄光室を見学されたのち寄贈のご意向を固められ、6月24日寄贈を受けることになった。

とくに全国優勝メダルは歴史栄光室の展示品に加えるべき貴重なものであり、飛田穂洲氏の書簡は、飛田氏と松本商業野球部との深いつながりを物語るもので、野球部百年プロジェクトの『野球部百年史』編纂の貴重な資料ともなるものである。

◆立体土偶が栃木県立博物館企画展

「土偶の世界 縄文人のこころ」へ

貸し出し◆

平成23年秋、栃木県立博物館で開か



れる企画展に、歴史栄光室所蔵の葦原遺跡（松本市波田）出土「立体土偶」が展示されることになった。2月9日、栃木県立博物館の上野修一人文課長が来校し、事前準備のための調査・写真撮影を行った。9月15日に美術品輸送の専門業者によつて厳重に梱包されて宇都宮市の博物館へ向かった。

この立体土偶は、昭和30年代、本校の地歴部が専門家の指導を受けながら発掘したもので、上野課長によると両手・両足の整った土偶はとても貴重なものであるとのこと。

今回の大規模な企画展は、当初栃木県と岩手県の共同開催の予定であったが、3月11日に発生した東日本大震災のため、岩手県での開催は取りやめになった。

また、その際に当時の発掘した様子を撮影したと思われる8ミリフィルムのDVD化をお願いし、出来上がってきた。今後内容を調査して公開する予定である。

◆木造校舎・旧講堂・柔剣道場を

国の登録文化財に指定申請◆

平成22年、松商学園高等学校本校舎の永久保存を目的とした耐震補強・修復工事が完了し、すでに終了していた旧講堂、柔剣道場（旧武道場）とともに国指定の登録有

形文化財に申請することになり、10月6日文化庁文化財部参事官の武内正和調査官（建造物担当）、10月21日には長野県文化財保護審議会の吉澤政己委員（信州伝統的建造物保存技術研究会副理事長）が来校して現地調査が行われた。

これらの建物は、昭和11年に今井五介や片倉兼太郎をはじめとする片倉財閥関係者の総力をあげてつくられ、当時「東洋の校舎」といわれたものである。八十数年の年月を経て、現在使用中の木造校舎や、昭和初期の鉄筋コンクリート造りの旧講堂、柔剣道場は貴重な近代建築史を物語るもののひとつとしてあらためて専門家から高く評価された。

平成23年3月に文化庁への申請手続きが行われ、7月には文化審議会の答申が出され、近いうちに指定の運びになります。

◆寄贈品受け入れ◆

- ◎平成22年9月以降 敬称略
- ◎硬式野球部鍵・58回大会コーチリボン 留魂51〜57年度 横山文博
- ◎昭和25年歌集3点・映研バッチ3点・バツクル 丸山正徳
- ◎昭和47年第54回夏の甲子園記念手拭 中島悦子
- ◎市民タイムス中島治康特集号額装 大月古史
- ◎算盤バツクル(全国商業高校長協会) 小平純民
- ◎教科書30冊・丁定規・計算尺(松本明道工業学校) 藤原一二
- ◎中島治康色紙「誠実」 那須 誠

◎昭和3年優

- 勝メダル
- 飛田穂洲手紙・中村恒利アルバム
- 中村新太郎



◆歴史栄光室の見学は◆

事前に電話でお問い合わせください。
お問い合わせ先 松商学園高等学校
電話：0263-333-1210

◆「松商野球部百年史」編集

古い資料はありませんか
硬式野球部は大正2年に創部され、平成25年には100周年を迎える。この4月「松商学園高等学校硬式野球部100年推進プロジェクト」が発足し、「野球部百年史編纂委員会」(宮坂真一委員長)がスタートした。「野球部百年史」は、A4判箱入り600ページを予定し、現在資料収集と執筆を進めている。卒業生・OB関係者で当時の写真などの資料を持っている方はぜひご連絡をお願いします。大切なものは撮影や複写をしてお返しします。

【連絡先】

松商学園高等学校内 野球部百年史編纂室
電話：0263-333-1210
FAX：0263-333-1213
担当窪田・高山(辛)
メール：rekishi@matsusho-h.ed.jp

終身会費納入状況

本年度の終身会費の納入状況は下記の通りです。各号に納入者のお名前を掲載しております。本号には、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの納入者名を掲載しました。ご協力に感謝しますと共に、厚くお礼申し上げます。尚、終身会費未納の方には、納入のご協力を頂きます様、お勧めをお願い致します。

平成22年度納入額

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	人数	口数	金額
卒業生	5名	5口	100,000円
3年在校生	34名	33口	672,388円
1年在校生	70名	70口	1,400,000円
新1年生	314名	316口	6,322,000円
返金額	△35名	△35口	△700,000円
総合計	388名	389口	7,794,388円

平成22年度卒業生(110回)

(平成20年4月1日～平成23年3月31日)

	人数	口数	金額
納入額	356名	358口	7,162,388円
返金額	△5名	△5口	△100,000円
計	351名	353口	7,062,388円

※ ゆうちょ銀行での振込みの場合

口座番号 00590-4-12388
松商学園高等学校校友会
終身会費1口2万円以上

※ お問い合わせは

松商学園高等学校校友会事務局
TEL 0263-34-2724
FAX 0263-34-0107

■平成19年9月30日までの納入者は32号に
■平成20年3月31日までの納入者は33号に
■平成21年3月31日までの納入者は34号に

■平成22年3月31日までの納入者は35号に
それぞれ掲載されております。

石山吉山百百宮深花野新富筒澤佐小加長伊井青百本村丸本古藤平西富田田武芝塩塩櫻坂小上柏風奥大内赤吉	秋山原本瀬瀬島澤村村澤木登々林藤村藤川木瀬島上山間幡原保奈美	実あ悠拓康徳采一大邦秀光健貴貴史麻美耕詩奈美滋光茶かつ曜平香子也未香樹歌実貴	堀藤中中津田高杉清佐酒駒輿神川唐唐大石石横山村宮宮南丸堀中中中水高高市佐佐齋小黒倉北川小越小大海内	内森村川村中山野水倉井形田和有田澤塚川井内岸中下澤山ノ内村田澤流山山東野近藤林岩科野船原智田島野堀	菜津裕和有祐留優美祥美拓織里真香尚彩幸智拓智梨愛梨美美雅英卓友成大成茂美祐真恭悠愛夢樹希子	美太輝遥紀依美太奈子樹輝江亜樹子也香萌宏美矢彦子加奈紀希充也作哉里美知実賢優太紀平梓暉暉樹希子	山森百丸降二中中中遠寺谷鈴白篠坂近小小輿久桐河栢鎌小大大内伊石阿山宮宮宮水丸丸丸本	岸瀬山旗木村西島山和川木鳥島口藤松西か保澤合下倉川島池山東田部口英里朗悠美創悠政貴	秀弘美隼大太啓晃歌瑞彩美健貴柚敦ほ実平碧汀悠江之太萌樹咲大花子磨咲太衣貴志	輔樹来綾哉介一太萌輝子季香舞咲太浩香子る
--	--------------------------------	--	---	---	---	---	---	---	---------------------------------------	----------------------

																																				辛 回 数	氏 名						
48	47	47	47	47	45	44	43B	43A	42	42	40	40	40	40	40	39	39	39	39	39	39	39	38	37	37	37	36	35	35														
北野郁雄	湯本信一	古畑淳人	黒岩幸寿	上沢幸雄	藤沢根原啓典	曾田保夫	山井昭廣	宮野芳昭	中山冲忠	高木昭二	白井隆司	酒井隆登	小松田伝	大沼力宣	等々力守	岩淵静敏	横山孟廣	洞澤満富	中村裕己	中村修二	大原かをる	石川久雄	横山弘三	山崎富康	百瀬正徳	丸山良平	松田英一	前田豊	田中次郎	窪田男	河上純貴	上原一郎	有水庄一	浅原久博	窪田昇	赤穂角美	55						
60	60	60	60	60	59	59	58	58	58	58	58	58	58	57	57	57	57	57	57	57	57	57	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	55	55					
降旗洋明	小松登行	小林繁久	北野貴光	宮下信一	中原哲史	横山明豊	百瀬清次	小岩謙晃	黒田敏人	熊友繁	大藤政幸	遠藤利行	百瀬憲三	古旗秀三	降旗昭悟	藤森靖枝	座間修	齐藤孝澄	小島裕己	上川博	小足喜通	望月恒徳	丸山泰正	松田宣夫	藤沢敏敏	平地忠敏	竹内勇徳	田口忠子	鈴木とし	鈴木清志	小富陽	秋山實雄	平山運敏	立延靖公	笠原延靖	60							
67	67	66	66	66	66	65	64	64	64	64	64	64	64	64	64	63	63	63	63	63	63	63	62	62	62	61	61	61	61	61	61	61	61	61	60	60	60						
河原秀俊	犬飼信一郎	林新一郎	小澤隆一	岩井健二	出井健二	北澤潤一	横山元秀	山田尚志	黒田有里	平林孝一	江口尚志	岡田亮三	太田裕三	鈴木鉄平	小山中誠	田中豊	上原保也	宮下幸保	須田正幸	石原隆子	吉岡祐子	国山彦志	横山敏彦	宮下正志	横山志章	太田江	宮澤志	深澤正	池澤晃	吉本彦	山本忠彦	小松忠二	長岡昭博	青木昭博	小岩井正巳	水谷晴	片岡勉	甕知子	中平文	竹内久文	久保田正文	108	

尚、ご納入の際には、維持年会費は一口2,000円（一口以上でお願いします）
 今回の会報（36号）と一緒にゆうちょ銀行の払込取扱票を同封しましたのでご活用下さい。
 ・学籍番号（会員番号）、卒業回数をご記入ください。
 （学籍番号は封筒の宛名欄の下にある数字です）

*** 納入は平成24年3月末日までお願い致します。**



平成23年 総会

平成23年5月14日（土）午後5時より、松本東急インに於いて平成23年松商学園高等学校校友会総会及び懇親会が多数のご来賓と大勢の校友のご出席を頂き、盛大に開催されました。
今回の総会において、平成22年度決算・平成23年度予算・平成23年度事業計画につき承認頂きました。
次のとおりご報告致します。

平成22年度決算報告書・平成23年度予算書

決算：自 平成22年4月1日・至 平成23年3月31日
予算：自 平成23年4月1日・至 平成24年3月31日

【一般会計】

収入	(単位:円)	
科目	H22年度決算額	H23年度予算額
維持年会費	1,047,000	1,100,000
総会会費	192,000	350,000
学年会費	210,000	210,000
預金利息	84,069	80,000
雑収入	259,750	200,000
終身会計より繰入	9,287,925	2,000,000
前年度繰越金	552,241	1,677,580
合計	11,632,985	5,617,580

支出 (単位:円)

科目	H22年度決算額	H23年度予算額
記念品費	139,010	146,000
総会費	719,261	700,000
会議費	149,140	200,000
委員会活動費	1,360	50,000
特活奨励費	947,000	950,000
事務局費	168,647	150,000
事務委託費	960,000	960,000
振込手数料	23,920	30,000
会報発行費	952,890	1,000,000
印刷費	15,470	30,000
通信費	101,627	150,000
慶弔費	321,000	200,000
組織活動拡充費	300,000	300,000
リース料	79,380	180,000
旅費	26,700	50,000
連合会負担金	50,000	50,000
特別寄付金	5,000,000	0
次年度繰越金	1,677,580	471,580
合計	11,632,985	5,617,580

【終身会計】

収入	(単位:円)	
科目	H22年度決算額	H23年度予算額
終身会費	8,494,388	8,000,000
預金利息	3,467	5,000
前年度繰越金	33,566,810	32,017,545
合計	42,064,665	40,022,545

支出

科目	H22年度決算額	H23年度予算額
一般会計へ	9,287,925	2,000,000
終身会費返金	700,000	0
振込手数料	59,195	30,000
次年度繰越金	32,017,545	37,992,545
合計	42,064,665	40,022,545



(株)佐藤ポデー製作所

佐藤 古寿
(65回卒) 0263-25-4832

千代田土地住宅(株)

土橋伊久雄
(53回卒) 0263-32-0906

履物問屋 清井商店

清井宗之助
(53回卒) 0263-32-0721

(株)ヒラバヤシ

0263-32-8700

(株)ギガ・ジャパン

益山定雄
(53回卒) 0263-86-5033

大和産業(株)

青柳 保
(53回卒) 03-3970-6623

アルプス造園

宮瀬 寛
(53回卒) 0263-72-3440

久保田容器工業(株)

久保田孝次郎
(53回卒) 0263-26-1232

平成 23 年度 事業計画

◆創立 110 周年記念事業への協力

110 周年記念事業（教育施設拡充募金）完遂の為に、同封の
 払込用紙にてご協力下さいます様、お願い申し上げます。

1. 総務企画委員会

- (1) 本会の経理及び財務に関すること。
- (2) 学年会費、終身会費、維持会費に関すること。
- (3) 松商学園高等学校との密接な連携に関すること。
- (4) ホームページの管理。

2. 組織活動委員会

- (1) 学年代表幹事、支部組織に関すること。
- (2) 校友会のあり方懇談会の開催。（直近の卒業生）
- (3) スポーツ系OB会・文化系OB会、同好会OB会との連携。
- (4) 学年代表幹事は、各委員会に所属する。

3. 事業活動委員会

- (1) 定期総会の開催。（平成 24 年 5 月 12 日（土）予定）
- (2) 会報の発行。（10 月下旬）
- (3) ゴルフ大会。（9 月 8 日（土））
- (4) 松商祭への協力。

平成 24 年 松商学園高等学校校友会総会のご案内

期 日：平成 24 年 5 月 12 日（土） 総 会：午後 5 時 30 分
 会 場：松本東急イン 懇親会：午後 7 時
 （松本市深志 1 - 3 - 21 電話 0263-35-3333）

卒業回数下一桁 9 の番号の方（59 回・69 回・79 回・89 回）の皆様、
 塩尻支部の皆様ご協力をお願い致します。



(株)ホテル モンターニユ 濱野 秀次 (64 回卒) 0263-35-6480	(有)エス・エヌ 服部 公威 (70 回卒) 0263-35-1195	(株)ホテルおもと 山本 浩司 (70 回卒) 0263-46-2385	(株)成進社印刷 腰原 春郎 (54 回卒) 0263-32-2301
(株)田内工務店 田内 光一 (69 回卒) 0263-58-2275	(有)クボタテック 久保田 正文 (67 回卒) 0263-32-7418	(有)小山はかり工場 小山 恵嗣 (75 回卒) 0263-25-3740	(有)中平工業 中平 寿文 (67 回卒) 0263-47-0006
(有)丸信商会 丸山 栄三 (53 回卒) 0263-32-4568	(有)メガネ専門店フキ 落沢 正紀 (59 回卒) 0263-35-3289	(株)エイコー 田中 義方 (53 回卒) 0263-47-2226	(有)マル直ムラマツ水産 村松 渡 (61 回卒) 0263-32-3710



第79回生

卒業30周年記念式典を終えて

私たち第七十九回生（昭和五十五年三月卒業）は卒業三十周年を迎え、平成二十三年二月二十九（土）に先輩方より引き継がれてきた、記念事業である「記念式典」をザ・ブライトガーデンで開催いたしました。

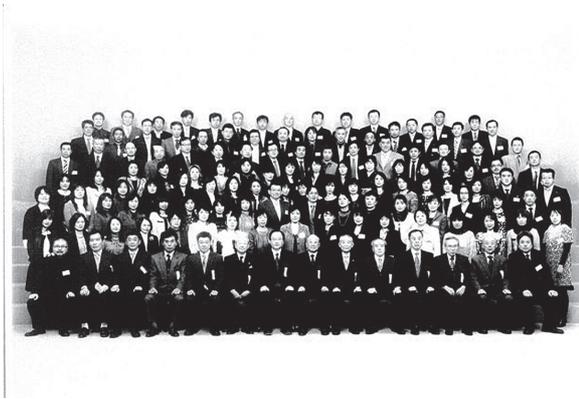
御来賓に、花村薫平校友会長、小宮山淳学園長、金井貞徳校長、青柳保京浜校友会長、又在学当時の恩師、蟻川貴宏先生、中澤智朗先生、上村洋先生、榊原進哉先生、また七十八回生を代表して内村浩明様、種村孝二様、八〇回生を代表して中澤和宏様、山下誠様に臨席を賜り、私達七十九回卒業生の卒業三十周年記念式典を百三十人同窓の仲間と共に盛大に挙行されました。

式典では、校旗入場、校歌斉唱、物故者黙祷を行なった後、学校運営、在校生の皆さんの教育に積極的に役立ててもらおうと、私達七十九回生に募った「奨学基金」総額百四十万円を奥原美樹実行委員長より金井貞徳校長へ贈呈いたしました。その後先輩たちから引き継いだ団結の証である「伝統の鍵」を八〇回生代表の中澤和宏様に熱い思いを込めて託し無事式典を終了致しました。

懇親会では、各クラス担任の先生より当時の私達の学園生活、又現在の松商学

園の様子など貴重なお話を頂戴いたしました。卒業当時のスライド写真が写される中、三〇年前に戻った雰囲気、当時の懐かしみ、又会話もはずみ、大変有意義な一時であったように思われました。

最後に「奨学基金」に御協力頂きました皆様、又式典の開催運営に協力頂いた関係各位の方々に心よりお礼申し上げます。そして松商学園の象徴である「自主・独立」の精神を自分達の胸に秘め、それぞれの道を切り開いていきましょう。皆様のますますのご健勝を心より願っております。



80回卒業生

全員集合!

私達も今年（平成23年）で卒業して以来30年を迎えました。皆様、それぞれの分野で活躍されていると思います。そこで先輩方から代々受け継いでいる伝統行事の「30周年の記念式典」を下記の通り行いますので80回卒業生の皆様の参加を是非お願いします。

①記念式典

期日：平成24年1月28日（土）
受付：午後5時00分
開始：午後5時30分
会場：ブライトガーデン

松本市高宮東1-28 (tel0263-29-1122)
備考：旧担任の先生をご招待致します。

②事業（後輩への奨学基金贈呈）

目標：1,000,000円以上

※ 詳細については、各クラス幹事より
ご案内致します。

【お問い合わせ】式典実行委員長 萩原 和昭（8組）
携帯電話 090-1868-9738

平成22年度校友会支部・学年会活動報告

◆支部会◆

- ・平成22年 6月19日 京浜校友会総会 於 アルカディア市ヶ谷
- ・平成22年 7月 3日 松商南信校友会総会 於 仙岳

◆学年会◆

- ・平成22年 6月 5日 67回生還暦記念同窓会 於 松本東急イン
- ・平成22年 10月23日 43回A同窓会 於 みやま荘
- ・平成23年 1月29日 卒業30周年記念同窓会 於 松本東急イン

